

製品名: アデュシン γ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06620**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	ADD3
別名	ADD3; ADDL; Gamma-adducin; Adducin-like protein 70
遺伝子 ID	120.0
SwissProt ID	Q9UEY8
免疫原	抗血清はヒト ADD3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 431-480

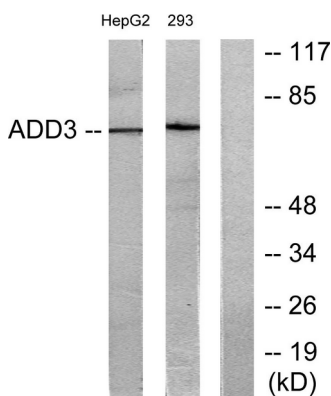
背景

アデュシン 3(ADD3) ホモサピエンス アデュシンは、アデュシン α 、 β 、 γ と呼ばれる異なるサブユニットから構成されるヘテロ多量体タンパク質です。3つのサブユニットは別々の遺伝子によってコードされており、赤血球内および上皮組織の細胞間接触部位におけ

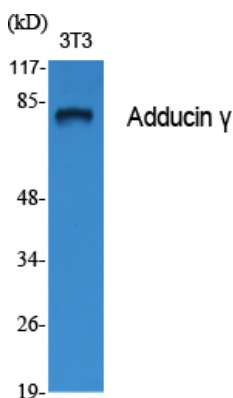
るスペクトリン-アクチン ネットワークの構築に関与する膜骨格タンパク質ファミリーに属しています。アデュシン α と γ は普遍的に発現しているのに対し、アデュシン β の発現は脳と造血組織に限定されています。アデュシンはもともとヒト赤血球から精製されたもので、アデュシン α と β のヘテロ二量体であることがわかりました。これら 2 つのサブユニットにおけるアミノ酸置換を生じる多型は、高血圧の動物モデルにおける血圧の調節に関連しています。 α サブユニットと γ サブユニットからなるヘテロ二量体も報告されています。構造的には、各サブユニットは 2 つの異なるドメインから構成されています。アミノ末端領域は、他のアイソフォームが存在する可能性があると考えられています。ドメイン: N 末端プロテアーゼ耐性球状ヘッド領域、短い連結サブドメイン、およびプロテアーゼ感受性テール領域の 3 つの領域から構成されています。機能: スペクトリン-アクチンネットワークの構築を促進する膜細胞骨格関連タンパク質。カルモジュリンに結合します。PTM: SUMO 化されています。類似性: アルドラーゼクラス II ファミリーに属します。アデュシンサブファミリーに属します。サブユニット: α サブユニットと γ サブユニットのヘテロ二量体です。組織特異性: 心臓はアイソフォーム 1 のみを発現します。

研究分野

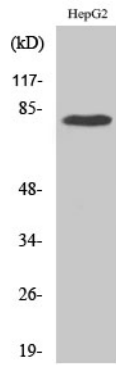
画像データ



ADD3 抗体を用いた HepG2 細胞および 293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



アデュシン γ ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



アデュシン γ ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析